

福祉の現場で働く人たちに、「うちの事業所はココが熱い！」魅力ややりがいをインタビュー！

「その子らしく」生きる力を育む喜び

放課後等デイサービス
チル・リブ西調布ルーム 仲玉子さん

子どもの「やりたい！」に
とことん付き合う

「タマゴ」の愛称で子どもたちに大人気の仲玉さん。大学では哲学を学び、卒業後に親族の闘病リハビリの経験をきっかけに作業療法士を志したという異色の経歴です。「転職活動で15カ所を見た中で、ここしかない」と決めたのがこの事業所。とにかく自由で子ども主体の方針に共感しました。学校や家ではダメと言われそうなおとも、ここでは安全を確保しながら

できる限り実現できるように、とことん付き合う。障害のある子どもたちは日常、大人が決めたことに従わなければいけない場面が多く、どうしても待ちの姿勢になりがちなのですが、ここでは自分の好きなこと、やりたいことを前面に出せるから、みんな生き生き、目の色が変わります。そういう本来の自分が持つ好奇心や行動力を引き出す中で、自ら考えられる力、大変なことがあってもめげない力が育つ環境を提供できるように、日々頭脳戦を楽しんでいます。」



室内でもできるだけ体を使い、思い切り遊びこむ活動を意識。



**放課後等デイサービス
チル・リブ西調布ルーム**
西調布駅近くの便利な立地。感覚統合的な効果のある室内運動をはじめ、野川公園などの広い場所での外遊びなど多様な活動を工夫。
調布市上石原1-25-47ドミール西調布102
042-452-8501

当事者主体で 集団が持つ力を生かす

病気や事故で脳機能の一部にダメージを受けたことによる様々な障がい「高次脳機能障がい」を持つ方々が通う「調布ドリーム」で機能回復や生活支援を担当する作業療法士の菅野さん。「この障がいは周囲からわかりにくく、本人も今までできていたことができなくなる辛さに向き合わねばならない難しさがあります。社会での認知もまだ低い中、同じ障がいを持つ方々が集団の持つ力で元気を取り戻していく、この仕事にやりがいと魅力を感じます。例えば障

高次脳機能障がいに特化した支援 高次脳機能障がい者活動センター 調布ドリーム 菅野 道生さん



機能回復プログラムのひとつ。音楽に合わせて楽しく行います。

がいによりできなくなったことをあきらめるのではなく、「代償手段(外的補助手段)」と一緒に考え、やってみる。そのことで少しずつ生活の質が豊かになり、体力や気持ちに余裕ができて、ほかのことにも前向きになれる。そんないいサイクルができたときはうれしいですね。メンバーの皆さんの多くが私より先輩で、様々な経験や歴史を持っておられるので、皆さんとの関わりが楽しく、自分自身の勉強になっていることがとても多いです。」



調布ドリーム
2002年「1人のリハビリはつまらなくても、皆でやれば楽しくなる」をモットーにスタートした自主グループが前身。リサイクルショップも併設。
調布市飛田給1-50-1
042-444-3068



調布市内の福祉作業所や放課後等デイサービスでは、ボランティアや職員の募集を行っている施設もあります。詳細は各事業所にお問い合わせください(本誌裏表紙に一覧)

みんなにやさしいまち ちょうふ

「障害のある人が利用しやすい」場所は誰にとってもやさしい場所。障害がある人に配慮がある施設やお店をシリーズで紹介しします



病院広報誌の連載で市内の作業所を詳しく紹介。



各作業所と製品の特長もわかるディスプレイ



入荷するとすぐなくなるという人気のプリン



**医療法人社団 東山会
調布東山病院**
調布市小島町2-32-17
042-481-5511

作業所製品の販売や広報誌で 地域の福祉を応援

売店で定番人気の作業所製品
固定ファンもたくさん

今年で創立40周年を迎える調布東山病院、様々な形で地域とのつながりを大切にしています。調布市福祉作業所等連絡会ともゆかりが深く、1階の病院売店では長年、福祉作業所の製品を販売し定番商品に。「値段が手ごろなのに安全でよい材料を使っている、と職員や利用者にもファンが多いですね。一時販売が途絶えた時は「いつ再開するのか」とお問い合わせてもありません。フェルトのマスコットなど季節の商品もかわいらしく、まとめて買っていかれる方もいます」と売店スタッフさん。

小島町 調布東山病院

また、広報課で発行している患者様向け広報誌「東山だより」で、昨年からは「調布の福祉」という連載コーナーを開始、市内福祉作業所の活動内容や製品を紹介しています。広報課の森口さんにお話を伺いました。「取材を通して福祉作業所の職員の方々のきめ細かい支援やお仕事への情熱に触れ、とても心が動かされました。職員からも、連絡会のことや製品の背景を知ることができて勉強になったという感想をもらいました。私も地域の医療機関も多様な方々が利用されますので、どなたにも安心して受診していただける病院を目指し、受付周りやお声がけの仕方なども工夫しています」

連絡会事務局員に齊藤央さんが就任

新事務局員の齊藤さんより
ごあいさつ

調布生まれ調布育ちの私は調布市社会福祉事業団、三宅島の社会福祉協議会で働き、この4月に戻ってきました。「おかえりなさい」と声をかけていただきとても嬉しかったです。連絡会の仕事は調布の福祉を支える大切な仕事です。太田さん、松井さんと続いたバトンを受け継ぎみなさんのお役に立てるよう務めさせていただきます。



調布市福祉まつり

12月3日(土)4日(日)に調布駅前
広場で開催されます。

Topics

新規加入事業所紹介

**社会福祉法人
調布市社会福祉事業団
なごみ**
調布市西町290-4
042-481-7371

**NPO法人 ふみ月の会
ふみ月の家**
調布市多摩川5-24-18
042-446-0633